



松崎町は「日本で最も美しい村」連合に加盟しています。



広報

ま つ ぎ ぎ ぎ

2018
(平成30年)

10

No.653



「第19回伊豆半島太鼓フェスティバル」(9/18)
町内からは伊豆松崎牛原太鼓が出演し、観客を魅了しました。

● 平成29年度 一般会計 ●

決算報告

総額34億4,268万円を
このように使いました。

「魅力あるまちづくりの推進」「安心安全なまちづくり」を重点課題とし、地域資源を生かしたまちづくりや防災減災対策、子育て支援・児童福祉の充実等に取り組みました。

総務費 7億8,360万円

- 22.8% (前年対比 △8,566万円)
- ・ 財政調整基金積立金 ……1億4,758万円
 - ・ 路線バス対策事業 ……2,438万円
 - ・ 花いっぱい運動推進事業 ……1,975万円
 - ・ まち・ひと・しごと創生事業費 ……1,877万円
 - ・ 選挙費(衆議院、県知事、町長選挙他) 1,866万円
 - ・ 地域おこし協力隊事業費 ……1,324万円
 - ・ 庁内ネットワーク環境構築業務委託(繰越) ……1,054万円
 - ・ 同報デジタル化実施設計業務委託 ……1,018万円
 - ・ 地域経済活性化対策費(住宅リフォーム助成他) ……832万円
 - ・ 美しい村推進事業費 ……481万円

民生費 8億4,121万円

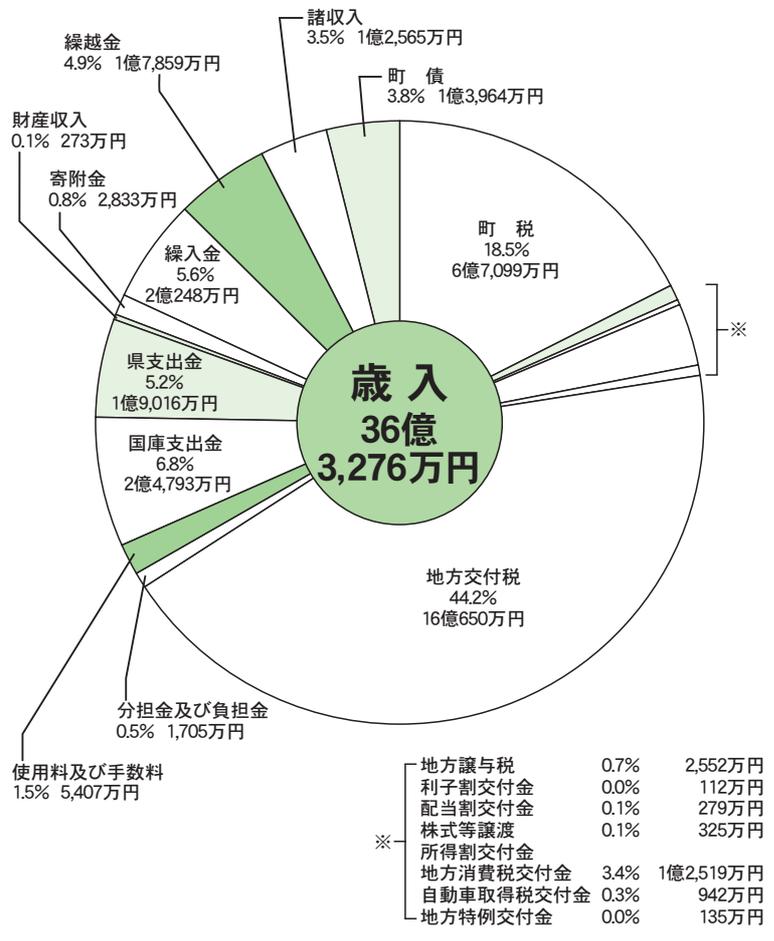
- 24.4% (前年対比 △196万円)
- ・ 障害者自立支援給付費 ……1億5,372万円
 - ・ 後期高齢者医療事業(繰出金他) 1億4,086万円
 - ・ 介護保険事業(繰出金他) ……1億2,730万円
 - ・ 国民健康保険事業(繰出金他) ……9,460万円
 - ・ 児童手当 ……6,511万円
 - ・ 保育所実施委託事業 ……6,063万円
 - ・ 臨時福祉給付金事業費(繰越) ……2,865万円
 - ・ 養護老人ホーム入所措置者委託 ……1,882万円
 - ・ 重度障害者医療費助成事業 ……1,833万円
 - ・ 地域福祉推進事業(子育て支援祝い品他) ……1,534万円

衛生費 4億447万円

- 11.7% (前年対比 +1,257万円)
- ・ じん芥処理事業(清掃点検業務委託他) ……1億9,019万円
 - ・ 西豆衛生プラント組合負担金 ……8,033万円
 - ・ 老人健康対策事業(がん検診事業他) ……1,354万円
 - ・ こども医療費助成事業 ……1,288万円
 - ・ 予防事業(インフルエンザ、定期・任意予防接種事業他) ……967万円

農林水産業費 1億8,011万円

- 5.2% (前年対比 △276万円)
- ・ 国土調査費(地籍調査) ……1,974万円
 - ・ 農業振興事業(青年就農給付金他) ……1,497万円
 - ・ 農地費(県営中山間地域総合整備事業他) ……1,548万円
 - ・ 漁港管理費(水門保守管理業務他) ……349万円



◎歳入の状況
 歳入決算額は、36億3276万円(前年度比12・7%減)となりました。老朽化した公共施設の改修事業費等に充てるため、基金を取り崩したことから、繰入金が前年度比60・54万円増となった一方、町債が3億5162万円減、国・県支出金が1億147万円減、地方交付税が3205万円減となりました。また、町税については、賀茂地方税債権整理回収協議会による徴収強化の成果により、徴収率は92・4%、前年度比1・4%増と向上しましたが、収入額は2214万円減になる等、自主財源比率は35・2%になり、依然として自主財源の確保が課題となっています。

◎歳出の状況
 歳出決算額は、34億4288万円(前年度比13・5%減)となりました。経常経費の内容精査を進め、無駄な経費の削減に努

公債費 3億1,313万円

9.1% (前年対比 +1,720万円)

- ・元金……………2億8,891万円
- ・利子……………2,422万円

議会費 4,764万円

1.4% (前年対比 △54万円)

- ・議員報酬、手当等

災害復旧費 1,090万円

0.3% (前年対比 +1,090万円)

- ・漁港施設災害復旧事業費……………1,090万円

教育費 2億3,808万円

6.9% (前年対比 △4億635万円)

- ・旧中川小学校プール解体工事(繰越) 1,925万円
- ・義務教育施設整備費
(小中学校トイレ改修工事他)……………712万円
- ・生涯学習センター管理費……………708万円
- ・遠距離児童生徒通学費補助金……………514万円
- ・国際理解教育振興事業……………505万円
- ・文化財保全事業……………451万円

消防費 2億2,032万円

6.4% (前年対比 +513万円)

- ・下田地区消防組合負担金……………1億5,340万円
- ・消防団運営事業……………3,302万円
- ・災害対策事業
(災害対策用資機材整備他)……………2,169万円
- ・消防施設整備事業……………514万円

土木費 2億2,235万円

6.5% (前年対比 △3,269万円)

- ・橋梁維持事業(水道橋架替工事他)…7,460万円
- ・道路維持事業(町道補修工事他)…5,395万円
- ・河川維持事業(河川維持工事他)…1,210万円
- ・港湾整備事業……………1,196万円

歳出
34億
4,268万円

平成29年度一般会計決算性質別歳出内訳表

性質別	決算額	比率
人件費	6億4,130万円	18.6%
物件費	8億1,714万円	23.7%
維持補修費	2,987万円	0.9%
扶助費	3億7,346万円	10.8%
補助費等	5億7,686万円	16.8%
公債費	3億1,313万円	9.1%
積立金	1億9,277万円	5.6%
投資及び出資金貸付金	544万円	0.2%
繰出金	2億3,762万円	6.9%
普通建設事業費	2億4,419万円	7.1%
災害復旧費	1,090万円	0.3%
合計	34億4,268万円	100.0%

商工費 1億8,087万円

5.3% (前年対比 △5,443万円)

- ・観光振興事業
(観光協会補助金他)……………5,039万円
- ・商工振興事業(商工会補助金他)……………929万円
- ・ふれあい交流推進事業
(グリーンツーリズム推進事業)……………417万円
- ・牛原山町民の森整備事業……………208万円

める一方で、地域の歴史的建物である重要文化財旧岩科学校校舎や登録有形文化財依田家住宅の修繕を実施し、地域資源の保護に努めました。

地震・津波対策では、備蓄食料の更新や避難所用防災資機材の追加整備のほか、平成31年度までの事業となる同報無線(町内放送)デジタル化整備事業の設計業務を実施しました。

さらに子育て支援・児童福祉の充実を目的に、旧松崎幼稚園の改修事業を実施し、利用スペースを拡充させた新たな児童館の運営を始めました。

一方で、将来的な大型事業や公共施設の更新経費の財源として、財政調整基金1億4758万円、公共施設整備基金3000万円を積み立てる等、計画的な財政運営に留意した予算執行を行いました。

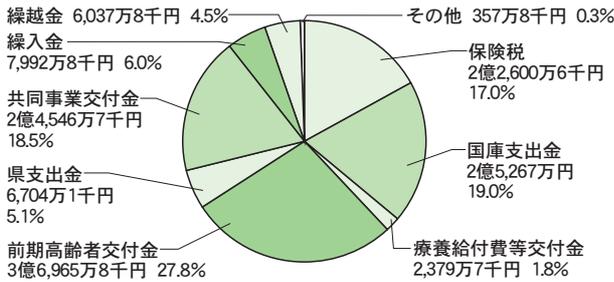
【問合せ】

総務課(42) 3963

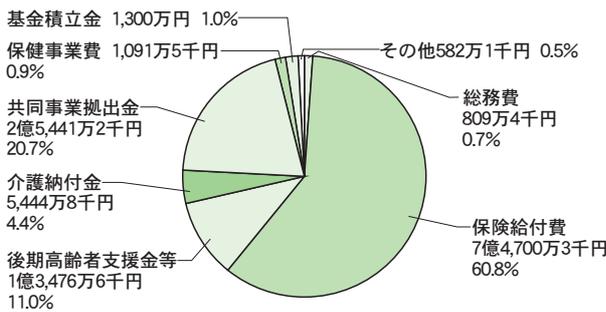
国民健康保険・後期高齢者医療・介護保険 特別会計決算の概要

【特別会計決算の状況】

特別会計	被保険者数	歳入	歳出	差引額
国民健康保険	2,393人	13億2,852万3千円	12億2,845万9千円	1億6万4千円
後期高齢者医療	1,688人	1億1,200万9千円	1億1,165万8千円	35万1千円
介護保険	3,028人	8億8,593万6千円	8億5,861万5千円	2,732万1千円



1人当たりの保険税 94,444円



1人当たりの医療費 368,675円

国民健康保険特別会計
平成29年度の国民健康保険加入者（年平均）は、2393人で、総人口に占める割合は35・4%となりました。世帯数では総世帯の48・2%となります。1441世帯が加入しています。

特別会計の歳入総額は13億2852万3千円（前年度比102・7%）、歳出総額は12億2845万9千円（前年度比99・6%）となり、歳入歳出差引額は、1億6万4千円となりました。

歳入では、国民健康保険税が2億2600万6千円（前年度比92・3%）となり、

一方歳出では、保険給付費（医療費のうち町が7割等負担する分）が7億4700万3千円（前年度比100・7%）となりました。

後期高齢者医療特別会計

平成29年度の被保険者数（年平均）は、1688人で総人口に占める割合は、24・9%となりました。

特別会計の歳入総額は1億1200万9千円（前年度比102・9%）、歳出総額は1億1165万8千円（前年度比102・8%）となり、歳入歳出差引額は35万1千円となりました。

保険給付等支払準備基金は、1300万円を積み立てた結果、残高は9102万7千円となりました。

今後も健康意識の高揚を図るとともに、特定健診の受診を促進し、生活習慣病の発症、重症化を予防すること等で医療費の削減を目指します。また、平成30年度から制度改正により静岡県国民健康保険となり、県や他市町と協力して、安定的な財政運営を目指していきます。

介護保険特別会計

平成30年3月末現在、65歳以上の被保険者数は3028人、そのうち、要介護・要支援認定者数は539人で、17・8%となりました。

特別会計の歳入総額は8億8593万6千円（前年度比104・0%）、歳出総額は8億5861万5千円（前年度比101・0%）となり、歳入歳出差引額は2732万1千円となりました。

このうち、介護給付費は8億1891万6千円で、前年度比100・9%、742万9千円の増額となりました。

今後も、介護予防事業の充実により、要介護認定者の減少を目指します。

【問合せ】
健康福祉課（42）3966

財政健全化判断比率の公表

財政健全化判断比率とは、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、自治体の財政破たんを未然に防ぐことを目的として、自治体の会計である一般会計、特別会計（企業会計含む）等の自治体の財政状況を明らかにするため、毎年度の決算時に算定する「健全化判断比率」および「資金不足比率」のことをいいます。

○「健全化判断比率」とは次の4つの比率をいいます。

- ・ 実質赤字比率
- ・ 連結実質赤字比率
- ・ 実質公債費比率
- ・ 将来負担比率

健全化判断比率（公営企業は「資金不足比率」）では、財政の危険信号を示す『早期健全化基準』（公営企業は「経営健全化基準」と財政破たん状態（会社でいう「倒産」）を示す『財政再生基準』）があり、比率が基準以上になると、国や県の手助けや管理の下、財政再生に取り組まなければなりません。

（財政健全化判断比率）

健全化指標	松崎町の比率	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	- (-)	15.0%	20.0%
連結実質赤字比率	- (-)	20.0%	40.0%
実質公債費比率	2.7% (2.4%)	25.0%	35.0%
将来負担比率	- (-)	350.0%	なし

※実質赤字比率、連結実質赤字比率の「-」は黒字の意味。
 ※将来負担比率の「-」は、数値がマイナスで健全性が保たれていることを示します。
 ※（ ）内は前年の比率。

○町の財政健全化判断比率は？

平成29年度決算による算定では、全ての判断比率が財政健全化法での基準を下回っており、平成28年度決算に引き続いて財政の健全性を確保しています。

（公営企業に係る資金不足比率）

特別会計名	松崎町の比率	経営健全化基準	財政再生基準
水道事業会計	- (-)	20.0%	なし
温泉事業会計	- (-)		
伊豆まつざき荘会計	- (-)		
岩地集落排水事業特別会計	- (-)		
石部集落排水事業特別会計	- (-)		
雲見集落排水事業特別会計	- (-)		

※「-」は黒字の意味で、（ ）内は前年の比率。

しかし、町の収入のうち町税等自主財源の占める割合は3割台で、県内でも最低水準となっており、自治体の財政状況は、さまざまに要因により比較・分析する必要がありますので、今後、この法律を含めたあらゆる方法・分析により、健全財政の推進に努めます。

買物等支援事業は継続して実施します



公共交通機関がない、あるいは他者の協力ががないと外出できない方に対し、既存のタクシー運行を、自己負担500円で、町内のお店や診療所等へ移動できる買物等支援事業として試験運行を実施していましたが、9月以降も継続して実施します。

【対象者】

- 4月1日現在、松崎町内に住民登録があり、在宅で生活を送る次のいずれかに該当する方が対象です。
- 満年齢75歳以上の方
- 身体障害者手帳1級または2級の所持者
- 療育手帳Aの認定者
- 精神障害者保健福祉手帳1級または2級の所持者
- 満年齢65歳以上で運転免許証を返納した方
- 妊娠中または産後3月以内の方

【委託先(タクシー事業者)】

伊豆土肥交通株式会社

【事業内容】

- ① 利用を希望される方は、健康福祉課へ利用者登録の申請を行い、登録証の交付を受けてください。
- ② 利用登録者は、町内の移動で支援が必要な場合、指定のタクシー事業者へ連絡します。
- ③ 町外への送迎は対象外。タクシー乗車時に「登録証」を運転手に提示します。
- ④ 降車時に、利用者負担金として500円を支払います。
- ⑤ 運行費のみが対象で、待機料金等を含む利用は対象外。

- ※提示がない場合は対象外。
- ※運行日は月・水・金曜日。午前5時30分から午後5時。
- ※祝日は運休。
- ※当日午前8時までの運行については、その前日の午後5時までの予約が必要。
- ※1日の利用回数は2回まで。

【問合せ】

健康福祉課（42）3966

交通安全ポスターコンクール

小・中学生の夏休み課題として募集した交通安全ポスターコンクールの審査会が、8月31日に行われました。

このコンクールは、交通安全ポスターを作製することにより、家族ぐるみで交通安全意識を高めてもらうことを目的に開催されています。

今回は、252点の応募があり、町長、交通安全対策委員、美術担当教諭等により審査が行われました。各部門の入賞者は、次のとおりです。

- 小学生低学年(1・2年)の部**
 最優秀賞 土屋 紅華(1年)
 優秀賞 松原 明希(2年)
 吉田 奏人(1年)
 佳 作 後藤 嵐(2年)
 高橋 歩叶(2年)
 山田 優歩(2年)
 江口 楓夏(1年)

- 小学生中学年(3・4年)の部**
 最優秀賞 大胡田 優羽(4年)
 優秀賞 土屋 色葉(3年)
 馬場 咲莉(3年)
 佳 作 鈴木 幸奈(4年)
 山本 航(4年)
 山本 芽季(3年)
 齋藤 瑛二郎(3年)

- 小学生高学年(5・6年)の部**
 最優秀賞 八木 花香里(5年)
 優秀賞 久保 優心(5年)
 松本 寛太(5年)

- 中学生の部**
 最優秀賞 山本 悠月(1年)
 優秀賞 稲葉 花奏(1年)
 後藤 妃南(1年)
 佳 作 池野 有紗(1年)
 大胡田 美羽(1年)
 山地 志歩(1年)
 山本 奈央(1年)

【問合せ】
 総務課(42) 3963

小学生低学年の部

最優秀賞



1年
 土屋 紅華さん
 (宮内)



【評】右手の挙げ方が清々しく、元気よく登校している様子が伝わる。

小学生中学年の部

最優秀賞



4年
 大胡田 優羽さん
 (伏倉)



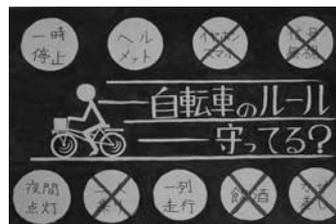
【評】笑顔が子供らしく、ヘルメットとライトのことを楽しく表現している。

小学生高学年の部

最優秀賞



5年
 八木 花香里さん
 (江奈3)



【評】ポイントを捉えてしつかりとしたメッセージを伝えている。

中学生の部

最優秀賞



1年
 山本 悠月さん
 (峰)



【評】反射材の必要性をわかりやすく表現した構図におもしろみがある。

9月1日総合防災訓練

9月1日「防災の日」に、町内各地で、大規模地震や津波発生を想定した訓練が行われました。

当日はあいにくの雨となり、訓練を中止する地区もありましたが、津波避難訓練、消火器等による初期消火訓練、自主防本部の設置、防災資機材の点検、避難所運営ゲーム（HUG）の実施等、地域の実情に応じた訓練が行われました。



新しく避難ビルとなった静岡銀行松崎支店



静岡銀行松崎支店屋上

東日本大震災以降も、平成28年4月の熊本地震、6月の大阪北部地震、そして9月の北海道胆振東部地震と、大きな地震が日本各地で発生しています。地震はいつ発生するかわかりませんので、避難行動は自然と体が動くようになるぐらいまで訓練を重ねることが重要です。また、外出中に地震が起

きることもありしますので、普段立ち寄る場所の避難場所がどこか防災マップ等を参考に確認しましょう。家庭では、家具がきちんと固定されているか、備蓄食料や非常持出品が準備できているか、家族が離れて被災した場合の連絡手段等を確認しておきましょう。



南区でのサバイバルフーズの試食



江奈2区の訓練で避難者の受付を行う中高生

避難所運営ゲーム

金沢区では、今回の総合防災訓練で、避難所運営ゲームを実施しました。これは、架空の避難所において、避難者や次々と起こる問題に対してどう対応するか、グループで話し合っって進める模擬体験ゲームです。

避難所運営だけでなく、避難生活でどういったことが必要になるか、また平時に何を備えておけば良いか考えるきっかけにもなります。



金沢区での避難所運営ゲームの様子

こちらは、防災訓練時以外にも貸出しを行っていますので、興味のある方は、役場総務課までご連絡ください。



【問合せ】

総務課（42） 3963

My Town Topics ～まちのできごと～



第19回全国漆喰鏝絵コンクール審査

9月3日、全国から56点の応募をいただいた「漆喰鏝絵コンクール」の審査を行いました。今年之最優秀賞には、吉田好美さん（神奈川県大和市）の作品が選ばれました。



十勝開拓団「晩成社の人々」肖像画展

9月8日から30日まで、帯広市との開拓姉妹都市締結40周年記念事業として、旧依田邸で「肖像画展」を開催し、依田勉三翁をはじめ、34人の肖像画が展示されました。



海のピカ市

9月9日、松崎港周辺では、第23回みなとでみんなと「海のピカ市」が開催されました。フリーマーケットやライブステージ等が行われ、多くの人で賑わいました。



健幸アンバサダー養成講座

9月12日、筑波大学大学院の久野先生を講師に、健康づくり無関心層の半減を目指して、ロコミで健康情報等を届ける「健幸アンバサダー」の養成講座を開催しました。

子どもの頃から相撲が好きで、上級生と相撲をとつても負けませんでした。齋藤前町長からは、「精ちゃん」は相撲が強かったなあ」と言われたことがあります。下田北高校柔道部に入り主将を務めました。が、強い部ではありませんでした。当時は体重別ではなく、63kgの私は90kg超の人と試合を制限界を感じていた頃、テレビで小柄なはかま姿の人がプロレスラーを投げている場面を見て、「インチキだな」と思ったわけですが、さらに見ていたら、小柄な人の技でプロレスラーが膝から崩れているのがわかり、「これは本物だ」とまさに「柔よく剛を制する武道だ」と思い、はかま姿の武道をやりたいと思ったのが合気道を始めました。法政大学で合気道をやり、ここでも主将を務めました。静岡銀行に入り全く余裕がな

趣味について

町長室からこんにちは ⑩

く、合気道はできなくなつたわけですが、静岡不動産に移ってから西伊豆合気会をつくり、松崎高校龍門館で毎週日曜日に稽古をし、今年で10年になります。柔道・合気道という武道を、高校・大学でやり通したことは、私の人生において肉体的・精神的に大きなバックボーンになっています。特に、講道館柔道創始者である嘉納治五郎先生の根本精神である「自他共栄」という言葉を心に刻み、今後も町政運営に当たっていきたいと思っております。10月7日(日)15時から、環境改善センター文化ホールで「西伊豆合気会10周年記念演武大会」を挙行します。もう一つの趣味は「そば打ち」です。そば打ち歴は20年になり、機会があったら紹介したいと思っております。

松崎町長
長嶋 精一

着物に関心を持って着てもらいたいー

細田 恵子さん（峰輪）

キラリ、輝き人 No.45



▲コンクールでのトロフィーを手に持つ細田さん

細田さんは、社会福祉協議会や町主催の着付け教室での講師や、9月23日開催『着物の似合う町づくりイベント』長八さんを路地で感じよう』でイベント参加者への着付けを担当する等、着付け関係でさまざまな活動を行っています。

着付けを始めたきっかけは、「母が着物の仕立て等をしていただいたので、幼い頃から着物をよく目にしていました。そこが原点だと思っています。趣味で踊りを始め独学で着物を着ていましたが、着付けをしつかり学びたい、定年後を考え何か技術を身に付けておきたいと思い、下田の着付け教室に週1回通うことにしました。教室に入ってから半年後に、先生からコンクールへの参加を薦められ、出場し



▲浴衣の着方を指導する細田さん

Profile

ほそだ しげこさん
山野流着装教室奥傳講師。
平成8年から着付けを学び、平成8年7月20日開催「山野流着装教室 首都圏地区大会 初伝の部」で銅賞を受賞。

た結果、53人中3位銅賞を受賞しました。受賞したことでモチベーションが上がリ、一度も教室を休むことなく、2年かけて免許を取りました」とのことです。活動について聞くと、「自宅で月に4回、着付け教室を開催しています。また、黒船祭の変身コーナーや成人式の着付けも10年以上行っています。着付けの際は、着る人の雰囲気や身長等を見て、その人に合った帯の結び方をします。着物を着る前のタオル等での補正、着崩れなことが重要で、着付けの勉強は、自分で着るだけでなく、人が着ているのを見るのもとても勉強になります。今後について、「着物に関心を持って、着てもらいたいです。着物を持っていても着ていく所がないとよく耳にします。目的ができるのと着る機会が増えますので、町のイベントがきっかけになれば良いと思います」と話してくれました。

地域交流通信

松本市安曇地区から

そうだ！
上高地へ行くー！

9月3日、地域の皆様からのご要望を受け、公民館講座上高地散策に行ってきました。

今シーズン何度も発生している台風の影響が心配される中、当日は良い天気に恵まれ、大正池のほとりに降り立つと、焼岳と爽やかな空気が私たちを迎えてくれました。

ガイドさんから注意事項等説明を受け、いざ出発！遊歩道の脇では、サルスゲの木の上で朝食中、それを見た子どもたちは大喜びです。田代池で穂高岳を見上げ、霞沢岳の冷たい湧水に手を浸し、可愛らしい花や神秘的な「サルスゲ」等を見ながら、田代橋、穂高橋を渡り、六百山と霞沢岳の雄大な景色を眺めました。ウエストンの碑前では、偉大な功績に思い

をはせ、上高地アルペンホテルで美味しい三段重弁当をいただき、明神コースと河童橋周辺散策に分かれて出発しました。

美しい山々と川の流れ、岳沢湿原等を満喫しながら明神に到着。そこからは、自由に歩きたいとの声があり、明神池、嘉門次小屋、明神橋で記念撮影をする人、五千尺のケーキを食べたいと足早に河童橋方面に向かう人、バスターミナルで、ソフトクリームを食べ、お土産に河童焼きを買う人等、思い思いに自由な時間を満喫し、帰りのバスの中では、楽しい会話に花が咲いています。

松崎町の皆さん、ぜひ上高地に遊びに来てくださーい♪



▲小梨平からの風景

町の人口と世帯

(平成30年8月31日現在)
()内は前月比

総人口	6,713人	(-17人)
男	3,198人	(-6人)
女	3,515人	(-11人)
世帯数	2,991戸	(+1戸)
転入	6人	転出 17人
出生	4人	死亡 10人

(8月届出分)
戸籍だより



おめでとうございます(出生)

地区	名前	性別	保護者
東区	里摘	男	篠原悠介
櫻田	賢大朗	男	土屋正樹
北区	廉	男	萩原将之
那賀	麻恵	女	朽木康弘

おくやみ申し上げます(死亡)

地区	氏名	年齢	届出人
道部	一之瀬博康	78	智子
明伏	鈴木佐千子	66	知子
櫻田	清水静子	69	春男
江奈2	高橋とめ子	98	正美
江奈2	石田禮子	85	章
道部	山本政男	95	秀樹
南郷	土屋憲	88	みゑ子
雲見	高橋泰	91	高橋吉明

※この欄に掲載を希望されない場合は、お申し出ください。

町の交通事故

平成30年8月発生分

()内は前年同月比

人身事故	0件	(-2)
物損事故	22件	(-6)
死者	0人	(±0)
傷者	0人	(-2)

【問合せ】健康福祉課(42)3966 ※このコーナーは偶数月に掲載します。



小野 闘莉くん
(伏倉)



大石 浩輔くん
(峰輪)



杉山 智奈美ちゃん
(北区)



山本 凌大くん
(伏倉)



松本 結陽ちゃん
(道部)

ピカピカキッズ



3歳児健診で「虫歯」がなかったお子さんを紹介します。

松崎文芸

— 短歌 —

対岸の連なる明かりの消ゆるさき

遠州灘のひろがりてゐむ

岡村芳子

乳がんの自己検診をすすめし日

思ひおこして乳房あらふ

杉山安紀子

サンダルを中途半端に突っ掛けて

足は華麗にタップダンス踏む

高橋美奈子

咲き分けの芙蓉の花の美しく

ジョギングする人も華やかに見ゆ

土屋君子

広報まつねき

二〇一八年十月一日発行
通刊第六五三三号

千四〇一三六六 静岡県賀茂郡松崎町宮内三〇一ノ一
四〇五〇四二一九六四 四二一三二一八三

発行 静岡県松崎町
印刷 (有)山本印刷

編集 企画観光課